

プレスリリース
2019 年 1 月, グラスヒュッテ

モリッツ・グロスマンがブランド初の 2 タイムゾーンモデル 「GMT」を発表

10 時位置のリユズ操作によるスムーズなセカンドタイム調整

モリッツ・グロスマンは、初のセカンドタイムゾーン表示機能付き「GMT」を発表します。GMT 機能は世界を飛び回る時計ファンより強い要望のあるモデルです。クラシックで機能的なデザインは、瞬時に異なる 2 か国の時刻の読み取りを可能にします。センター針による通常の 12 時間表示に加え、時計の外周に位置したアロー型の針がもう一つの時間を示すことで、2 か国目の時刻について午前・午後までも明確に知ることが出来ます。

クイックアジャスト機能付き 24 時間表示

時計の外周に沿ってアラビア数字による 24 時間表示がされており、視認性の高いアロー型の針で時刻を指し示します。10 時位置にセットされたもう一つのリユズ操作により、セカンドタイムゾーンの時刻を進み・戻り両方向へ瞬時に変更することが出来ます。10 時位置のリユズ操作時にはホームタイムの輪列は切り離され、その操作の影響を受けません。ホームタイムの輪列の動きは複雑な機構を通じて外周の 24 時間表示針へ伝わり、それによりセカンドタイムも連動して進みます。

キャリバー100.8

「GMT」にはハイクォリティー仕上げのキャリバー100.8 が組み込まれています。スケルトンバックからはモリッツ・グロスマンの特徴的な 3 分の 2 プレーットの支柱構造、平型ネジ留め式の盛り上がったゴールドシャトンなど、精巧なムーブメントを見ることが出来ます。キャリバー100.8 では、セカンドタイムゾーン表示機構はダイヤル側に取り付けられています。ホームタイムの時針が取り付けられた 2 番車へと接する中間車を通してセカンドタイムゾーン表示の外周リングに輪列の動きが伝わり、アロー型針を進めます。10 時位置にあるもう一つのリユズ操作によりセカンドタイムゾーンの時間変更が出来ます。ラチェット機構による歯車の精密な制御により、常に正確な時刻を読み取ることが出来ます。

ダイヤルと針

「GMT」はローズゴールドまたはホワイトゴールドケースからお選びいただけます。シルバーカラーのダイヤルはどちらのケースにおいても際立った輝きを放ちます。ホワイトゴールドケースでは温かみのあるシャンパンカラーのダイヤルもお選びいただけます。

外周に印字されたブルーあるいはブラウンの 24 時間表示と、それを指し示すアロー型のインジゲーターは、視認性を保ちつつホームタイム表示とも調和するデザインとなっています。手作業で仕上げが施され、ブラウンカラーに焼き戻しをされたランセット型の針がアクセントとなりデザインを際立たせます。ホワイトゴールドケースのシルバーダイヤルモデルにはポリッシュ仕上げのステンレススチール針が使われています。

世界を旅して時計を学び、多言語による書物を残したモリッツ・グロスマンの美学を反映した「アトム GMT」の発売により、グラスヒュッテのマニファクチュールブランドであるモリッツ・グロスマンはコレクションをさらに充実させます。

シンプルなデザイン、卓越した技術、そして完璧なクラフトマンシップによるモリッツ・グロスマン独自のタイムピースは、ブランドのスローガン「Schönstesdeutsches Handwerk」 - 「最も美しいドイツの職人技」を見事に表現しています。

モリッツ・グロスマン 2019 新作ロードショー

モリッツ・グロスマンはブランドの新しいコンセプトと 2019 年の新作コレクションをインターナショナルロードショーとして各国にて発表してまいります。1 月 30 日に行われるドバイでのリリースに続き、3 月 7 日には日本、また 5 月・6 月にはそれぞれ香港とロンドンにてイベントを行います。

バリエーション

Ref.	MG-002154
ケース	18K ローズゴールド
ダイヤル	シルバー
針	手仕上げ、ブラウンに焼き戻したスチール
Ref.	MG-002225
ケース	18K ホワイトゴールド
ダイヤル	シルバー
針	手仕上げ、ポリッシュ仕上げをしたステンレススチール
Ref.	MG-002155
ケース	18K ホワイトゴールド
ダイヤル	シャンパン
針	手仕上げ、ブラウンに焼き戻したスチール

仕様

ムーブメント	自社製キャリバー100.8、手巻き、5 姿勢調整
部品数	253 個
石数	26 石（うち 3 個はネジ留め式ゴールドシャトンに使用）
脱進機	アンクル脱進機
調速機	質量ネジ 4 本および調節ネジ 2 本を装着した耐震軸受式グロスマン製テンプ、ニヴァロックス 1 ヒゲゼンマイ（ブレゲタイプ 80 番、ゲルステンベルガー案に基づく）を下側に設置
テンプ	直径 14.2mm テンプ振動数: 18,000 振動/時
パワーリザーブ	完全巻き上げ状態から約 42 時間
機能	時、分、ストップセコンド機能搭載スモールセコンド、GMT 機能、グロスマン製プッシャー付き手巻き機構
特徴	グロスマン製テンプ／針合わせファンクション解除・時計リスタート用プッシャー／24 時間表示のセカンドタイムゾーン（外周回転式インジゲーター）／10 時位置の個別リュウズによる前後調整可能なセカンドタイム機能／小型化したグラスヒュッテ式コハゼ装置（改良型戻し機能付き）／段差式テンプ受け、グロスマン製精密調整ネジによる緩急調整装置／表面処理をしない洋銀製 3 分の 2 プレートおよび支柱構造、3 分の 2 プレート・テンプ受け・ガンギ車受けのハンドエングレービング／幅広のグラスヒュッテ・ストライプ模様、角穴車の 3 段サンバースト模様／平型ネジ留め式の盛り上がったゴールドシャトン／個別に取り外し可能なクラッチ式巻き上げ機構／針合わせ用ストップセコンド機能
操作	リュウズ 2 個 18K ゴールド（巻き上げ・時刻調整用／セカンドタイム設定用）、プッシャー18K ゴールド（時計リスタート用）

ケースサイズ	直径 41.0 mm、厚さ 11.85 mm
ムーブメントサイズ	直径 36.4 mm、厚さ 5.55 mm
ケース	スリーピース
ダイヤル	シルバー無垢、インデックスはゴールド無垢
針	手仕上げ、スチール／ステンレススチール
風防	片面反射防止加工をしたサファイアクリスタル
ストラップ	手縫い、アリゲーター・ストラップ、ピンバックル

モリッツ・グロスマン

モリッツ・グロスマンは 1826 年にドレスデンに生まれ、偉大なドイツ人時計職人たちにおいて先駆者とみなされます。若く才能に恵まれた時計職人であったグロスマンは、友人のアドルフ・ランゲの説得により 1854 年に自身の工房をグラスヒュッテに設立しました。評価の高い時計企業を運営する一方で、グロスマンは政治的・社会的な活動に努め、1878 年にはドイツ時計学校を設立します。1885 年にモリッツ・グロスマンは突然亡くなり、彼の死とともに時計マニュファクチュールも解体されました。

このモリッツ・グロスマンの伝統的な時計作りが 2008 年に復活しました。時計師クリスティーネ・フッターが、かつてグラスヒュッテの時計ブランドであった「モリッツ・グロスマン」に出会い、その商標を取得し、構想を練り、素晴らしく繊細な腕時計とともに残された 120 年前のグロスマンの遺産を受け継いだのです。そして、個人の時計愛好家からの支援によって 2008 年 11 月 11 日にグロスマン・ウーレン社がグラスヒュッテに設立されました。今日のグロスマンの時計師は、歴史的な部分を単に模倣するのではなく、新たな伝統を作り上げています。モリッツ・グロスマンは、革新と卓越した技能を基に、伝統的であると同時に最新の仕上げ技術と高品質の素材を使い、時計作りにおける「新しい時代の原点」を創り出します。

www.grossmann-uhren.com

Image material for download:

<https://my.hidrive.com/share/1dthj-rzwwk>

Further information about Grossmann Uhren GmbH available to download:

<https://my.hidrive.com/share/a44bao2nf6>

Grossmann Uhren GmbH:

www.grossmann-uhren.com

<https://en.grossmann-uhren.com/watch/gmt/>

詳細な情報および高解像度の画像をご希望の方は下記にご連絡下さい。

モリッツ・グロスマン・ジャパン株式会社

担当：瓜生 まり子（マーケティング&PR）

Tel: 03-5615-8185 Fax: 03-5615-8186

Email: mariko.uriu@grossmann-uhren.com

MORITZ GROSSMANN
GLASHÜTTE 1/SA

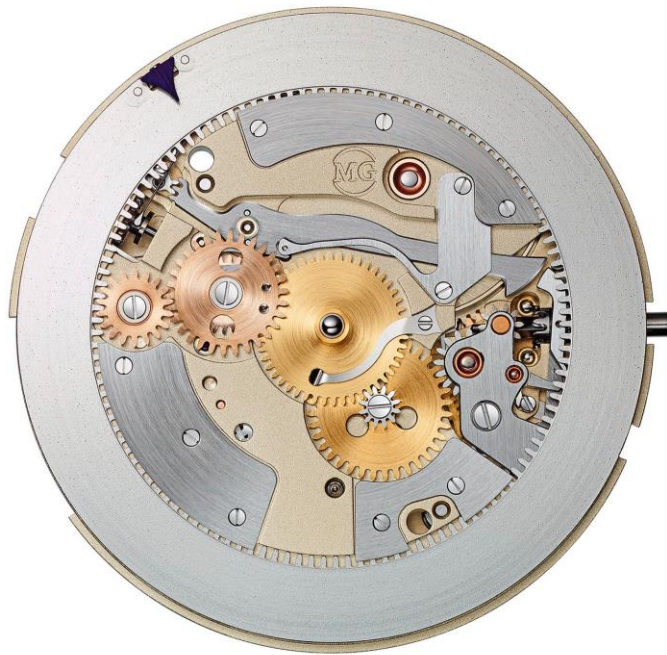


MORITZ GROSSMANN
GLASHÜTTE 1/SA



MORITZ GROSSMANN
GLASHÜTTE 1/SA





Calibre 100.8